

犯罪多発警報発令に伴う知事メッセージ

現在、主に高齢者を狙った特殊詐欺が県内で多発しています。

息子を騙った「オレオレ詐欺」や有料サイト料金の「架空請求詐欺」のほか、今回新たにパンフレットを送りつけて社債やダイヤモンドを高価で買い取るなどと言葉巧みに現金をだまし取る「金融商品取引詐欺」が発生し、高齢者の方が約 2 億円という 1 件当たりとしては過去最高の大変高額な被害に遭われました。

今年の「特殊詐欺」の被害額の合計は、過去最高であった昨年の約 5 億 4 千万円を超えており、極めて憂慮すべき事態となっています。

特殊詐欺は、県民の皆様の大切な財産を奪おうとする卑劣で許しがたい犯罪であり、何としても根絶させなければなりません。

そこで、「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議は、これ以上の被害者を出さないための緊急的な対策として、本日「特殊詐欺多発警報」を発令し、県民の皆様や事業者の方々と一体となった県民総ぐるみによる特殊詐欺の根絶を改めて呼びかけます。

「パンフレットが届いていませんか」「代わりに株（社債、ダイヤモンド）を買ってほしい」「名義を貸してほしい」「捕まりたくなかったら現金を送れ」「レターパックや宅急便で現金を送れ」等は詐欺を見破るキーワードです。

県民の皆様におかれましては、ご自身がこのような言葉に十分注意していただくとともに、ご家族や周囲の方を気にかけて、被害に遭われないよう呼びかけをしていただきますようお願いいたします。

平成 26 年 12 月 5 日

「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議
会長 三日月 大造